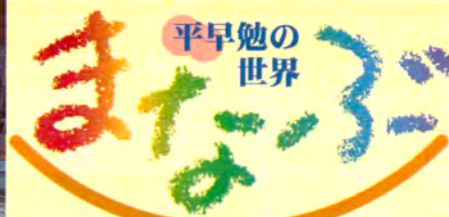


# こどもの城 ニュース

1997・11・15 No.80 発行 / [こどもの城]広報部 ☎ 03-3797-5666 〒150 東京都渋谷区神宮前5-5-1



このふたりの顔、そっくりでしょ！  
双子の兄妹なのです。  
小学校から帰宅した兄妹は、教科書をカバンから取り出すと復習を始めます。「授業は厳しいから」とお母さん。この国の教育水準も上がっているようです。  
復習を終えると兄妹は、今度はじゅうたんの上でコーランを朗唱して、神に祈るのです。  
(エジプト・カイロ)

## 人のかかわりを通して子どもの心を育てたい 大切なのは、人と人とのふれあい

核家族化、少子化などが進み、私たちがとりまく環境も大きく変わってきました。子ども同士(特に年齢の異なる子ども)が一緒になって遊ぶことが少なくなったり、祖父母との3世代同居家族が減って、「生活の知恵」を伝えることが難しくなったりしています。人のかかわりが少なくなる一方で、テレビや新聞・雑誌などのマスメディアが発達し、たくさんの情報を手軽に手に入れることができますが、あまりの多さに消化不良を起こすことも少なくありません。社会は大きく変化していますが、[こどもの城]では、スタッフや幅広い年齢層のボランティアが力を併せて、人と人とのふれあいを大切にしたい「子育て支援」などのプログラムに取り組んでいます。

### 親も子もリラックスできる環境で、人との交流する機会を



孤立しがちなお母さんたちにとって、気軽に相談できたり、話を聞いてもらえたりすることが大きな支えになります。いろいろな情報が、さまざまなメディアを通して手に入りますが、やはり「人のぬくもり」は、大きな安心につながります。

#### “おしゃべり”で心配事もすっきり解消

初めての子どもは何かと心配なもの。「赤ちゃんサロン」(毎月第2・4火曜日)は、同じ年ごろの赤ちゃんを持つお母さんたちの「集いの場」。子どもの成長や健康のこと、自分自身のことなどを同じ年齢(月齢)の子どもを持つ人たちと自由におしゃべり。自由なおしゃべりを通して、不安やストレスを解消したり、新しい情報を手に入れたりできます。  
小児科医、栄養士、保健婦、臨床心理士など「子育て」の専門家がそばにいますので、適切なアドバイスを得ることができます。ちょっとした相談にもってくれます。

#### 親子・家族プログラムを大切に

保育研究開発部では、子育てをお手伝いする「親子教室」(1歳児の親子)、「保育クラブ」(3~5歳)、異年齢混合保育の「幼児グループ」(4~5歳)などのプログラムを行っています。親子や子ども同士のつながりだけでなく、親子、家族同士のコミュニケーションを大切に活動。今年1月には、「幼児グループ」「保育クラブ」のお父さん、お母さんとスタッフが協力して「保育フェア」の大イベントを開催。たくさんの人と「ふれあう」機会を作りました。



#### 大変なときには、思いきって人に助けを求めていいですよ

最近のお父さんお母さんは、子どもの様子を頭の中で一般的な枠や形にはめて考え、そこに当てはまらないと不安になったり自信を失ったりしがちです。親もリラックスして、ボール遊び、水遊び、ままごとなどを一緒に楽しみ、子どもの感じていることがつかめるといいですね。それでも、育児が不安で大変なときには、身近な信頼できる人に相談することも大事です。人は人を通していやされたり、人とのつながりの中で成長していくものです。



#### 私たちが、こうやってみんなに見守られて育ってきたんだね

少子化が進み兄弟姉妹の少ない子どもたちが増えています。さまざまなことを学び合う「身近な他人」がいなくなっているのです。保育研究開発部では、夏休みなどを利用して、小・中学生と幼児のふれあいの場を設けています。「幼児グループ」「保育クラブ」を卒業した小・中学生が保育ボランティアとして、幼児の世話をしたり、遊び相手になったりしています。



#### 人との関係の中で、自分がかげがえのない存在、と感じる体験を

プレイ事業部長 小川能男さん

人は、自分がほかの人に必要とされ、またそれに応えられたときに「自分がかげがえのない存在なんだ」と感じ、自尊心が生まれ、成長発達することができます。家族の中でも、遊びグループでの活動の中でも、みんなから助けられたり、存在を認められたり、愛されたり、というだけでなく、誰かを励ましたり、助けたり、役に立ったりという機会がたくさんあります。さまざまな場面で、立場や役割を交代しながら、お互いが生かされる人間関係は、子どもの成長発達にかかせない大切な要素なのです。



#### 授乳室をリニューアル

乳幼児を持つ方に利用されている授乳室(4階大型エレベーターわき)が、10月14日にリニューアルしました。利用者の声を取り入れて、お母さん、お父さんの背丈に合わせたおむつ替えシートを増やしたり(3台設置)、ゆったり授乳のできるお母さんだけの授乳コーナー(写真右)も整備しました。また、1階エントランスホール、3階女性トイレ(造形スタジオ前)にも、同じおむつ替えシートを設置しました。



#### お互いの体温を感じ合える“ふれあい”を

保育研究開発部長 山田道子さん

小・中学生のボランティアと保育の子どもたちが、手をつないだり、抱っこをしたり、揺さぶり遊びをしたりと、体と体のぬくもりを感じ合える「ふれあい」を持つことは、大きな意味があります。手をつなぐことで「お兄ちゃんの手は大きいな」「幼児の手は小さくてかわいいな」と実感します。互いの体温を感じ合える「ふれあい」を通して、小さい子の心の中には愛情をかけたこと、記憶が残り、小・中学生のボランティアには相手の痛みや気持ち、情緒などを実感することができます。心と心の「ふれあい」だけでなく、身体的な「ふれあい」も大切にしています。

#### 仲間や大人との“仲間作り(交流)”の機会も

子どもたちは「遊び」の中から、いろいろなことを学んでいきます。グループで活動する場合などは特に、人と人との関係(社会性)などを身に付けるよい機会となります。子どもたちの「仲間作り(交流)」のプログラムです。



小・中学生の遊びのクラブ「キッズクラブ」「ユースクラブ」にはたくさんボランティア(大学生・社会人)がかかっています。夏休みに行われた「夕涼み」は、子どもだけでなく、親を巻き込んだプログラムとして、家族全員で楽しみました。

#### 親子でいっしょに遊びを体験する機会を

平日の[こどもの城]には、親子で楽しめるプログラムがいっぱい。さまざまな年齢のボランティアも活動しているので、プログラムとの出会いのほかにさまざまな人との出会いも体験できます。また、親子で同じ遊びを体験すれば、共通の話題も生まれます。

#### 平日は、親子で楽しむプログラムがいっぱい



みんなでライブ(火曜・音楽ロビー)



造形スタジオ



おりがみあそび広場(木曜・プレイホール)

[こどもの城]の造形スタジオ、プレイホール、音楽ロビー、AVライブラリーなどの「こども活動エリア」では、親子で一緒にリラックスして楽しめる「遊び」がいっぱいです。子どもを遊ばせるのではなく、親子で一緒になって遊べば、自然と「ふれあい」が生まれます。スタッフやボランティアのお兄さん、お姉さんも一緒に遊んでくれます。

**段ボールのかまどでピザを焼きました**  
「キッズクラブ」の子どもたちが、手作りピザに挑戦。特製フルーツ&チョコレートピザなど、ユニークなピザを口いっぱいほおぼっていました。



**ファミリーハイキング**  
こどもの城友の会を会員を対象とした「ファミリーハイキング」が、10月26日に開かれ、24家族が参加しました。

**ウォールサッカー大会に30チームが出場**  
第3回「ウォールサッカー大会」が10月10日に、体育室で開かれ、熱戦が繰り広げられました。



**研修室に「赤ちゃん大集合」**  
「赤ちゃんサロン」特別版(通常は第2・4火曜日)が10月30日に開かれ、241組の親子が参加。体育、音楽、保育のプログラムを楽しみました。



**コミュニケーションをテーマに 120人参加し、こどもの城 小児保健セミナー終る**

「第12回小児保健セミナー～お母さんを泣かせていませんか?」子育て支援の原点が、10月18日に「こどもの城」研修室ほかで開かれました。今回は、子育て支援の大原則となる「お母さんの子育てを勇気づけること」がテーマ。その基本となる話の聞き方、話し方、接し方など個人対個人のコミュニケーションのあり方について、実技と講義が行われました。午前中は、植松紀子こどもの城小児保健クリニック臨床心理士の指導で「コミュニケーションの実技」。少人数のグループを作って人の話のきき方を体験しました。午後は、白鳥元雄聖徳大学教授(元NHKアナウンサー)の「きく・話すーコミュニケーションの基礎」と巻野悟郎こどもの城小児保健クリニック顧問の「育児相談の実践」の講義。白鳥教授は、人と人の言葉によるコミュニケーションのあり方を、巻野顧問は育児支援に携わる人の「ほんの一言」がお母さん方に大きな影響をおよぼすことなど講義しました。保母、保健婦など約120人の参加者は、現場でのふだんの行動を振り返りながら、熱心に実技にも参加し、質問していました。

1月21～23日に「こどもの城 児童厚生員等実技指導講習会」  
**こどもの城となかまたち プレイ事業部の「ふれあいあそび」を紹介**

平成9年度の第3回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会が、1月21～23日の2泊3日の日程で「こどもの城」で開催されます。テーマは、「こどもの城 ふれあいあそびのコレクション」。講師は、「こどもの城」プレイ事業部のスタッフほか。プレイホールで行われているさまざまな活動プログラムの企画、運営、演出方法などのノウハウを基に実践的な内容の講習です。受講料は、32,000円(宿泊費込み)、定員は50人です。12月18日の午前11時から先着順に電話で受け付けます。講習会についてのお問い合わせ、申し込みは、「こどもの城」企画研修部 ☎03-3797-5665へ。

**こどもの城平成9年度第3期講座**  
**12月9日から受講生募集!**

平成9年度第3期講座・クラブ受講生を募集します。【こどもの城】では、平成10年1月から開講する講座・クラブの申し込みを、12月9日(火)午前10時から先着順で受け付けます。一部、抽選で受講生を決定するものや、随時受け付けている講座もあります。詳しいお問い合わせ・資料の請求は、【こどもの城】1階講座受け付け ☎03-3797-5666 休館日を除く午前10時から午後5時30分へ。

**幼児・親子**

- ◆母と子のすくすくランド お座りのできる乳児/金曜の午前
- ◆母と子のパチャパチャスイム 1・2歳/金曜の午前
- ◆幼児・母親水泳 1・2歳/水・土曜の午前
- ◆幼児・母親体育 2・3歳/水曜の午前
- ◆幼児水泳 3・5歳/火・木曜の午後
- ◆おんがく星みつけた(就園前のリズム) 2歳と母親/木曜の午前
- ◆リズム・ムービング 3・5歳/火曜の午後
- ◆母と子のリズム(ダウン症クラス) 3・5歳のダウン症児と母親/木曜の午後
- ◆第12期親子教室 1歳と親/月・土曜の午前(全12回)

**一般成人**

- ◆ジュニア新体操 小1～3の女子/水と金曜の午後
- ◆シニア新体操 小3～中3の女子/水と金曜の午後
- ◆三味線 小2～高3/日曜の午前
- ◆ガムラン講座 小1～高3/日曜の午後
- ◆リズム・ムービング&パーカッション 小1～3/火曜の午後
- ◆和太鼓グループ 小3～高3/土曜の午後
- ◆パソコンクラブ 小4～高3/水・木・土曜の指定時間
- ◆シニア・スイミング 小1～中3/火・水曜の午後
- ◆手足の不自由な子の水泳 小1～中3/土曜の午後
- ◆健康スポーツ教室(太りすぎクラス) 小1～6/土曜の午後

**小学生**

- ◆小学生水泳 火～金曜の午後
- ◆小学生体育 火・木曜の午後
- ◆シニア・スイミング・フレッシュ 小3～中3/金曜の午後
- ◆小学生パソコン教室I-C 小4～6/日曜の午前

**家族で楽しめるクリスマスプログラムがいっぱい**

【こどもの城】の冬休み特別期間は12月26日からですが、12月には家族で楽しめるクリスマス・プログラムがいっぱいあります。

**バイリンガル・ファミリーシアター「ミセス・サンタズ・アニマル・クリスマス」**

12月6・7日 青山円形劇場

英語と日本語の2か国語で楽しむバイリンガル・ファミリー・シアター「ミセス・サンタズ・アニマル・クリスマス」が、12月6日(1:30/3:30)、7日(11:00/1:30)に青山円形劇場で開催されます。今年、「動物の生きる姿とおして、命を大切にしよう」をテーマに、【こどもの城】パフォーマンス・グループの子どもの演じる動物とミセスサンタのお話です。身勝手な人間の都合で捨てられてしまった犬、ねこ、ねずみ、鳥たちがミセスサンタの愛に包まれて、懸命に生きる姿をおして、命の大切さを訴えるストーリーです。家族で楽しむファミリーディスコ

ゲームタイムもあります。また、7日11時の公演には、【こどもの城】幼児グループの4・5歳児20人が特別参加して表現遊びを披露します。入場無料ですが、開演1時間前に1階アトリウムで配付する入場整理券が必要です。

**もりだくさんのクリスマス・プログラム**

冬休み前の12月25日まで、【こどもの城】ではたくさんのクリスマスにちなんだプログラムが行われます。

□カードをつくらう(12月2～25日/



パソコンルーム)＝パソコンでオリジナルのクリスマスカードを作ります。

□ハンドベルコンサート(12月7日/音楽スタジオB)＝ハンドベルの音色にのせたとっとりとしたクリスマスコンサート(写真)。

□わいわいスタジオ どうようコンサート～うたおうクリスマス(12月21・23日 1:30と3:30/音楽スタジオB)＝家族みんなで楽しめるクリスマスソングや童謡のミニコンサート。

□クリスマス人形劇フェア(12月21・23日1:00と3:00/フリーホール)＝学生人形劇サークル「じゃん

**冬の大自然の中でスキーレッスンを 12月の「スキースクール」参加者募集!**

【こどもの城】では、年末に新潟県で実施する「スキースクールパート1」の参加者を募集しています。初心者には、滑る「感覚」を覚えやすいようにミニスキーを使ったレッスン、上級者にはどんな斜面でも対応できるような体の動きを身に付けるレッスンなどを行います。大

ぐるじむ」のみなさんによる人形劇の上演。

□こども歳時記「クリスマス」(12月9～25日/造形スタジオ)＝紙で飾り靴を作る「グッツグツ」、セロハンやビニール袋を使って作るキラキラ光る「キラくるカード」(小1～)、小さなうそくを作る「プチキャンドル」(小3～/土・日・祝のみ)などのクリスマスにちなんだ造形をします。

いずれも、入館券のみで参加できます。詳しいお問い合わせは【こどもの城】 ☎03-3797-5666へ。

**11月22～24日「あそびのおもちゃ箱」【こどもの城】のボランティアが集まって 人形劇やパネルシアターの公演とワークショップ**

【こどもの城】で活動している青年・女性ボランティアが集まって、影絵、サンバ、人形劇、紙芝居、パネルシアターなどの公演とワークショップを行う「あそびのおもちゃ箱」が、11月22～24日にフリーホールで開かれます。

プレイホール(おはなし紙芝居のついで)＝火曜日、おはなし人形劇場＝水曜日などや音楽ロビー(木

曜ワンダーランド、楽器であそぼう＝金曜日など)で、定期的に行われているボランティアの活動を一堂に集めたもの。フリーホールが「あそび」がいっぱいつまった「おもちゃ箱」になります。毎日11時、1時、3時の3回、人形劇などの公演が行われます。

公演の合間には、ペープサートを作って遊ぶワークショップが行われま

す。会場には、道や森、川、池、町などが描かれたカーペットが用意されていて、自分で作ったペープサートの人形で遊ぶことができます。

**設立以来の理事 松崎芳伸氏が死去**

(財)児童育成協会理事で元日本経営者団体連盟専務理事の松崎芳伸氏が11月6日に、肺線維症のため死去。84歳。昭和53年6月20日の設立以来の理事として、20年近くにわたって【こどもの城】の建設・運営に携わってきました。

自然の中で、スキーが満喫できる4日間です。指導は体育事業部の専門スタッフが当たります。

期間＝①12月26～29日 ②12月28～31日/場所＝新潟県中魚沼郡夕川津南/対象＝小2～中3/定員＝45人/参加費＝61,000円(交通・宿泊・食事・リフト代含む)。お問い合わせ・申し込みは、こどもの城体育事業部 ☎03-3797-5660へ。

**12月13・14日 走れ! キャッスルトレイン ～こども鉄道運転会**

Nゲージの鉄道模型を走らせる 鉄道の楽しさ、おもしろさを知ってほしいとー12月13・14日にフリーホールで「走れ! キャッスルトレイン～こども鉄道運転会～」が開催されます。Nゲージの鉄道模型の走行を中心に、運転会に参加するためのオリジナル切符作り、パソコンを使った鉄道にかんするクイズ、運転士になるためのトレーニングコーナーなどがあります。13・14日とも11～4時、会場は地下1階フリーホール、入館券のみで参加できます。

**第10回こどもの城キリン・ファミリーオペレッタ まんぶく村のハムスターキック2 ワニのジャックがやってきた!**

1月2～8日 青山円形劇場

正月恒例の青山円形劇場公演「こどもの城キリン・ファミリーオペレッタ」は、子どもたちに舞台をおして心の豊かさや、夢見ることの素晴らしさ、人を愛することの大切さを知ってもらうようにと企画されたもの。10年目を迎えた今年は「まんぶく村のハムスターキック2～ワニのジャックがやってきた!」。小学4年生のマサくんには、ジャックというペンフレンドがいます。2人は「大きくなったらパイロットにな

る」という夢に向けて励まし合っていました。ある日、ジャックからこんな手紙が届きました。「実は、ほく、ワニなんです……そして、まんぶく村に行かなければならないのです」。ジャックを追いかけて、マサくんもまんぶく村へ行くことになりました。そこで、ハムスターのキックやたぐさんの動物に出会います。まんぶく村で2人を待ち受けているのは……。出演＝こどもの城児童合唱



**【こどもの城】シリーズ 刊行始まる** 児童館や保育所などの現場で役立つように、【こどもの城】の活動をまとめた事例集。プログラムの企画から実際に、実際のノウハウがいっぱい。

**【こどもの城】** **一緒に遊ぼう 楽しく子育て ～一人ひとりが輝くために**

保育研究開発部で行っている「子育て支援のプログラム」を集めました。1・2・3～5歳の幼児を対象としたプログラムから、母子、親子、父子、家族プログラムまで、保育者の視点、実施上の注意点、応用・発展へのヒント、そして個々の対応のポイントなど実際の「子育て支援」ノウハウがまとめられています。こどもの城保育研究開発部編著

**【こどもの城】** **うつる うごく「映像遊び」探検隊 ～アニメおもちゃからビデオまで**

AV事業部の「映像遊び」のプログラム集成。映画が発明される以前に考案された「視覚玩具」(眼の錯覚・残像などを利用した玩具)を応用した遊びから、ビデオを使った遊びまで、特別な道具を使わずに楽しめるさまざまな「映像遊び」を集めました。巻末には主要プログラムの型紙がついています。こどもの城AV事業部編著

各巻とも、A4変形判130ページ2色刷り、本体価格は、1,800円(税別)。全国の書店で取り扱っています。書店で手に入りくい場合は、直接発行元へお申し込みください。送料は1冊、340円です。【こどもの城】売店でも販売しています。

発行＝中央法規出版株式会社 〒151 東京都渋谷区代々木2-27-4 ☎03-3379-3861(代)

**インフォメーション INFORMATION**

**青山円形劇場**

- 劇団四季ミュージカル「李香蘭」▽11月9～24日
- ▽S＝9,000円、A＝7,000円、B＝5,000円、C＝3,000円(消費税別)
- ※平日は各1,000円引き
- セ・シ・ボン 水谷寿美リサイタル▽11月26日

**青山円形劇場**

- ▽1階席＝7,000円、2階席＝5,000円
- スイセイ・ミュージカル「ピアニスト〜クララ・シューマン物語〜」▽11月28～30日
- ▽S＝8,000円、A＝7,000円、B＝5,000円、C＝3,000円
- LA STRADA 一生成ー谷村新司▽12月5～25日
- ▽グランドフロア(1階席)＝10,000円、バルコニーシート(2階席)＝7,000円
- あうる 第11回公演「謎貴妃」▽11月19～23日
- ▽4,300円(当日＝4,800円)
- 川島佳子 三味線のついで▽11月24日▽3,000円(子ども1,500円)
- 劇団第三反抗隊「Ye 11」▽11月28～30日
- ▽2,500円(当日＝2,800円)
- ジャクティ&ヴァンタマラ舞踊団「破城と建造のエロス」▽12月1日▽6,000円
- ア・ラ・カルト～役者と音楽家のいるレストラン～▽12月10～25日▽5,500円
- ご予約・お問い合わせは、青山劇場予約センター ☎03-3797-1400へ。